

ぐらうとど

巻頭特集 土佐赤岡どろめ祭り

豪快に飲んで楽しむ これぞ土佐の心意気！



どろめ祭り実行委員
赤岡民謡クラブ氏原えり
大杯に注がれる赤岡町高木酒造の「豊能梅 来響(らくおう)」。淡麗辛口でどろめはもちろん土佐料理とよく合います



ゴールデンウィークのイベントの先頭を切って行われる『土佐赤岡どろめ祭り』。昭和30年代に観光事業がなかった赤岡町を盛り立てようと始められ、今ではおいしい地酒とどろめを目当てに、県内外から約1万人が集まる盛大な祭りになりました。



どろめとはイワシの稚魚のことで、土佐ならではの名称です。旬は9月から6月で魚体は3cm前後。とれたてほど透き通っていてピンクしています。潮の香りとほのかな苦みがあり、ニンニク葉のめたとの相性は抜群です。

特産品のどろめで町を元気にしたい

赤岡町沖合の太平洋は、古くからどろめの好漁地として知られ、地引き網やばち網で収穫されてきました。どろめは鮮度を保つのが難しいことからすぐに釜揚げされるのが

一般的ですが、産地では朝どれが生のまま食べられることから珍重されてきました。そのどろめが全国に知られるきっかけになったのが昭和34(1959)年から始まった土佐赤岡どろめ祭りです。第二回は、どろめ音頭や、どろめ網引き歌に合わせて地元チームの踊りが披露され、浜は空前の人出で大いに賑わいました。

太陽の下で大宴会！ 土佐流の豪快なもてなし

どろめ祭りの醍醐味は、太平洋を目の前にして昼間からお酒が飲める突き抜けた開放感にあります。この独特な雰囲気の中、新鮮などろめを肴に地酒で酔いしれようと県内外から大勢の人が訪れます。海を背にした特設ステージでは、楽しい催しが次々と行われ、浜全体が大きな宴会場のように盛り上がりま



どろめ祭り実行委員会
赤岡小学校 岡西えり

酒豪博士目指して頑張れ！

婦人会もお手伝いしますよ！

大杯飲み干し大会で会場の熱気は最高潮

「ぐらうとど、ぐらうとど」大杯を傾ける横でマイクを握り、おなじみのかけ声を繰り出すのが行司です。「このかけ声があるのとなないのでは飲みやすさが全然違う」と出場者に言われるほどの大切な盛り上げ役です。軽妙な語り口で長い間会場を沸かせてきた名物行司の島崎信将さんにかわって、昨年から島中拓馬さんが新しい行司に。「ぶっつけ本番でしたがすごく楽しめました。飲む早さに合わせてぐらうとどにもいろんなパターンがあります。今年も上手に盛り上げて気持ちよく飲んでもらいたいです」

豊かな歴史ある町の心意気を祭りに込めて

屋外の祭りで一番心配されるのが天候です。実行委員の皆さんは毎年気をもみながら当日を迎えます。

「大杯飲み干し大会」

男性は二升、女性は五合！

この大杯を使います！



どろめ祭り実行委員会理事
高木酒造株式会社 高木さん

「これが大杯飲み干し大会で使う杯(直径約30cm)です。練習のためにお酒を買いだめという問い合わせもあります。大杯はお貸しできませんが、それに代わるもので練習されるようです」



でいくことも重要で、それがうまくやってこられたこともよかつた、と高木さんは振り返ります。今年には迫力ある、漁船パレードや名物、白波五人男、歌謡ショーやどろめ踊りが披露され、ミライブには高知を拠点に活躍するジャーパーズが登場します。61回目を迎えてさらに熱く、お酒のおいしい一日になりそうです。

第61回土佐赤岡どろめ祭り

ステージでは大杯飲み干し大会のほか多彩な催しが行われます。有料テント席以外は無料で入場可。会場へはごめん・なはり線(あかおか駅から徒歩3分)が便利です。

時間：4月29日(日・祝)午前10時～午後3時
場所：香南市赤岡浜(雨天決行)
チケット料金：テント席 一人2,800円(お酒2合・どろめ汁・どろめめた・座席料含む)
販売窓口：香南市商工会 ☎0887-54-3014
受付締切：4月20日(金)先着900名
※主催／土佐赤岡どろめ祭り実行委員会
◎当日チケットの販売もありますが早々の売り切れが予想されるのでお早め。



▲有料チケットのどろめ・どろめ汁・お酒のセット



▲ウナギとアサリのつかみ取り「ちびっこ海」



▲迫力満点の「漁船パレード」



▲昨年の「大杯飲み干し大会」。盛り上がっています！

2018
4/29
(日・祝)

赤岡のどろめを
いっぺん食べよう！

どろめ祭り実行委員会理事
高知県漁協赤岡支所 山下さん

